

今後の検討の方向性

C 帯サブ・ワーキング・グループにおける今後の検討に際して、主な検討項目としては以下のものを想定している（議論の過程において、必要に応じて一部修正や変更を行うことがある）。

- 5GHz 帯気象レーダーは、WRC-19 に向けた議題への対応が求められていることから、当面、これを注視し、必要に応じて対応する。
- 電波利用料財源による技術試験事務の1つとして、C 帯を共用する無線 LAN の DFS に関する調査検討が実施されている。本年度末にこの報告書が完成された後、この報告内容に基づき、気象レーダー側が対処すべき対応策を検討する。
なお、このためには無線 LAN 側との十分な意思疎通が必要となるため、例えば、無線 LAN 側と気象レーダー側による合同の作業班等を開催し、議論することなどが望ましい。
- また、国際的に固体素子型の気象レーダーの位置付けが必ずしも明確ではないことを踏まえ、今後の海外展開にも有利な技術的条件を検討する。